

「台風18号 災害特集号」の発行に際して

9月15日の夜から16日にかけて接近した台風18号の影響で、市内全域で、本日に大きな被害が発生しました。この台風の影響により、被害に遭われた皆様に、あらためまして心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害では人的被害はなかったものの、鴨川の決壊や各地での河川、水路の氾濫、道路の損壊や断水、あるいはがけ崩れや土石流の発生、そして280軒を超える床上・床下浸水など、市内全域で大きな被害が発生し、私たちの暮らしや企業活動に非常に大きなダメージをもたらしました。

市では、台風の接近に伴って立ち上げた「災害対策本部」のもと、皆様の暮らしに欠かせないライフライン等の復旧にあたるとともに、9月25日には「災害復旧支援本部」を設置し、被災された方々に一日も早く日常の平穏を取り戻していただくための支援体制を取ってまいりました。こうした中、今回の災害の全容が徐々に明らかになってまいりましたこと、また、被災者の方々への支援制度についても一定の情報がまとまってまいりましたことから、こうした情報を広く市民の皆様にお知らせするため、急遽この冊子を発行することといたしました。

復旧の道はまだまだ途上ではありますが、災害の経過と現時点での復旧情報を共有いただき、市民の皆様にも、この冊子をご自身の今後の防災の一助としていただければ幸いです。

高島市長 福井 正明

9.15-16 台風18号襲来 豪雨 災害

9月15日から16日にかけて本州を襲った台風18号は、これまでに経験した事のない猛烈な大雨をもたらし、市内の各所に大きな爪痕を残して過ぎ去りました。未曾有の被害をもたらした、人々の暮らしに大きな影響を与えた台風18号の大被害について報告します。

台風18号、発達しながら本州北上

9月13日に小笠原近海で発生した台風18号は、日本の南海上を北上し、大型の勢力を保ったまま16日8時前

●台風18号の経路



に愛知県豊橋市付近に上陸した後、本州中部を北東に進みました。この台風を取り巻く雨雲や湿った空気が次々と流れ込んだため、滋賀県では記録的な大雨となりました。15日の明け方から降り始めた雨は、夕方から徐々に雨足を強め、時間を追うごとに激しさを増してきました。そんな中、18時48分、近江西部に大雨警報が発表され、その後、21時13分には洪水警報が発表されました。市では、大雨警報が発表された段階で、災害に備え「警戒1号」の体制をとっていましたが、土砂災害の

滋賀県防災ヘリから高島南鴨地域を撮影（9月16日撮影）



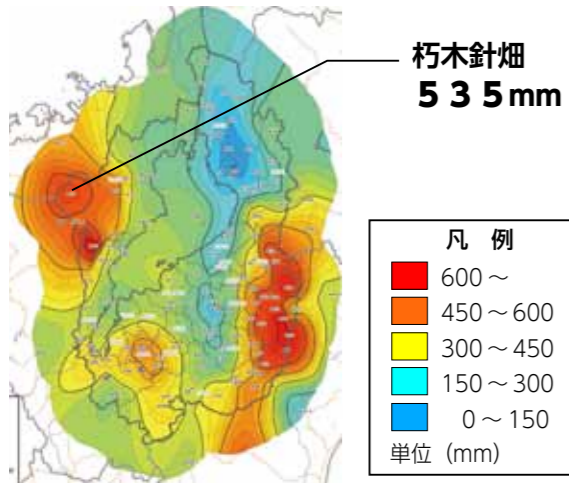
鴨川の決壊箇所



雨量等 DATA

● 総雨量(9月15日0時～16日24時)

雨量出典：滋賀県土木防災情報システム、気象庁



凡例

600～
450～600
300～450
150～300
0～150

単位 (mm)

▼各観測所総雨量

(単位：mm)

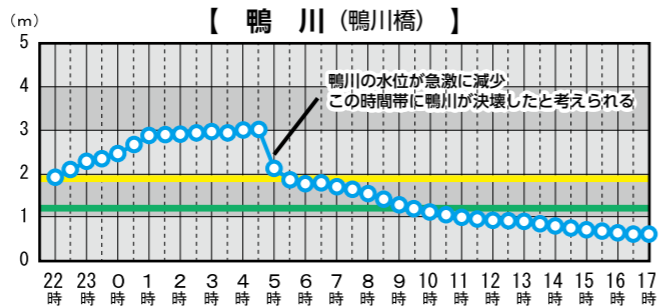
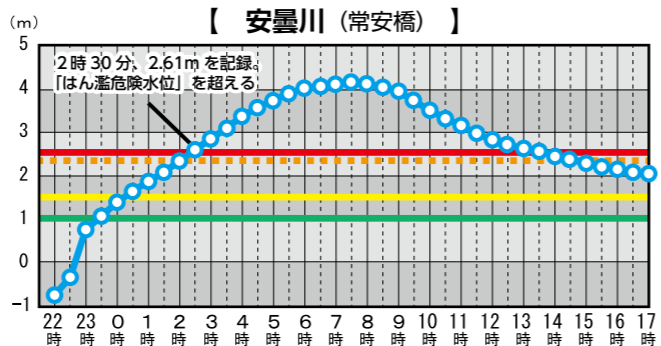
マキノ沢	216	市場 (国)	417
マキノ (国)	229	上古賀	317
野口	228	栃生	508
河内谷	253	村井	442
保坂	387	葛川	635
天川ダム	256	安曇川	240
今津	222	ガリバー	409
針畑	535	勝野	253
市場	477	大溝 (国)	284

● 河川の水位状況 (9月15日～16日)

出典：滋賀県土木防災情報システム

凡例

はん濫危険水位	はん濫注意水位
避難判断水位	水防団待機水位



※県管理の一級河川鴨川は、水防法の水位周知河川に指定されていないため、はん濫危険水位と避難判断水位は定められていません。